

## デンマークはなぜ成功したか？

以上のような自然エネルギーの普及をデンマークが成功させることができたのは、なぜでしょうか。

一つは、子供の頃からの社会問題を実地で考えさせる教育により、18歳の国会議員が成立し、投票率も80%以上という国民の意識の高さと、国民と政府が直結した政治です。風力発電もバイオガスも、市民や農民が始めたそうです。それを国が支援して育てて来たのです。もう一つは、自然エネルギーの育成のために、環境税と補助金を活用したことです。石油など化石燃料には環境税をかけ、それを自然エネルギーや省エネへの補助金とし、それにより、自然エネルギーが、化石燃料よりも安くなる状況を作り出したのです。さらに、電力買取保証制度で、自然エネルギーによる電力を確実に売れ、利益が出るようにしました。利益が出るから、国民は積極的に風車を建てたのです。

資源の有効活用のためには、Reduce、Reuse、Recycleの優先順に実施するのが、環境負荷をできるだけ小さくする手段です。日本では、リデュースよりもリユースが優先されているくらいがありますが、デンマークではセオリー通り、しっかり実施する仕組みを創り出しています。のためにゴミ廃棄を有料にし、リサイクルのためにデポジット制をかなり高い価格で採用しています。

そして、それを支持している国民がいるのです。国民の支持がなければ、そういう政策を取りようにも取れません。

日本でも、以前に比べると国民の環境意識も以前に比べかなり高くなってきており、政府も科学に基づき高い目標を設定するなど、積極姿勢になって来ました。

日本人は、本来、自然を大事にしておりました。江戸時代の日本は、浮世絵、能、歌舞伎といった高い文化を保持しながら、資源をしっかり循環させていた環境先進国であり、その伝統は、昭和30年頃まで続いておりました。「もったいない」という言葉は、日本独特の言葉であったように、Reduce、Reuse、Recycleは、日本の伝統であったのです。戦後、アメリカの使い捨て文化に染まってしまう、日本は道に迷ってしまいましたが、日本は、本来、自然を大事にし、ものを大切に使う、環境を大事にする国であり、それは日本人のDNAとなって、ひっそりと息づいていると、私は信じています。時代の転換点を迎えている今、デンマークなど欧州の環境先進国を参考にし、自然と共生して生きた江戸時代の伝統を思い出し、日本の優れた科学技術を活用して、環境先進国への道を行って欲しいと思います。

- 完 -

[その7へ](#)  
[東京支部のトップページへ](#)  
[CASAトップページへ](#)

(写真は、デンマークの虹：未来への希望を象徴して



ユトランド半島西部



サムソ島



飛行機から